

# 箱根ラリック美術館 開館10周年記念企画展 「ミュシャとラリック」

2015.02

期 間 2015年 4月25日(土)～12月13日(日)

箱根ラリック美術館では、開館10周年記念企画展「ミュシャとラリック」を2015年4月25日(土)～12月13日(日)まで開催します。本邦初公開の、二人が共同制作したといわれる唯一の作品を含め、美術館全館(常設展示室、企画展示室、サロン・ド・サラ、ベル・エポックの部屋)で、ミュシャとラリックの世界を展開します。共通点の多い二人を並べて語る、世界初の展覧会。これまでになかった切り口でそれぞれの芸術家の生涯を紐解きます。

## 企画展概要

ポスターのアルフォンス・ミュシャとジュエリーのルネ・ラリック。アール・ヌーヴォーの寵児として並び称されてきた二人は、フランスが誇る世紀の大女優サラ・ベルナルにその才能を見出され一躍表舞台に躍り出ました。また、1900年のパリ万博では才能を遺憾なく発揮、それぞれのキャリアで最初のピークを迎え、次に同時期に人生の転機を迎えるのです。

同じ年(1860年)に生まれたミュシャとラリック。長い下積み生活を経て一代で名を成したことや、アール・ヌーヴォーの時代だけでなく、その後もトップランナーとして活躍し続けたことなど、共通点が少なくありません。また、関わり方は異なるものの、サラの演目やパリ万博など、節目節目の重要な局面で、同じプロジェクトに参加しています。

しかし、キャリアを積み上げていく中で、二人は異なる道を歩んでいくことになります。ラリックは、一点もののジュエリー制作から、大量生産のガラス工芸家へ転身し、ミュシャは、無数に刷られるポスターのデザインから、祖国のための絵画制作へと向かったのです。同じパリで花開いた両者は、成功の後に自分を更に見つめ直すことで、アートへの取り組み方が正反対になったのでした。

その後世界は激動の20世紀に入りますが、両者ともその波を乗り越え制作を続けていけたのは、その根底に「芸術で人々の心や生活を豊かにしたい」との強い想いがあったからでした。

これまでに並べて語られることが殆どなかったミュシャとラリック。本展では、二人が共同制作したといわれ、サラ・ベルナルが舞台「遠国の姫君」で使用した本邦初公開の作品、舞台用冠「ユリ」をはじめ、これまでのミュシャの展覧会で紹介されることがなかった貴重な作品なども展示します。時代背景もからめて、作家の精神性にまで深く迫る展覧会です。



アルフォンス・ミュシャデザイン、ルネ・ラリック制作  
舞台用冠「ユリ」1895年頃



世紀の大女優サラ・ベルナルを描いた  
アルフォンス・ミュシャ作  
リトグラフ「ジスモンダ」1894年  
京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵



## 箱根ラリック美術館 開館10周年記念企画展

### 「ミュシャとラリック」概要

期 間 2015年4月25日(土)～12月13日(日)  
会 場 箱根ラリック美術館(常設展示室、企画展示室)  
出展作品 アルフォンス・ミュシャデザイン、ルネ・ラリック制作  
舞台用冠「ユリ」1895年頃

#### ルネ・ラリック作

ブローチ「アザミ」1905-1906年頃  
ブローチ「シルフィード」1897-1899年頃  
チョーカーヘッド「流れる髪の女」1898-1900年頃

など約130点

#### アルフォンス・ミュシャ作

リトグラフ「<連作>四季」1896年  
油彩画「リンゴを持つ少女」1920年  
リトグラフ「ジスモンダ」1894年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵

など約100点

※上記作品のうち、特に記載のないものは箱根ラリック美術館所蔵

協 力 OGATAコレクション(フランクフルト)、OZAWAコレクション、  
切手の博物館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、京都工  
芸繊維大学附属図書館、堺市 (五十音順)



ルネ・ラリック作 ブローチ「アザミ」1905-1906年頃



アルフォンス・ミュシャ作  
油彩画「リンゴを持つ少女」1920年  
箱根ラリック美術館所蔵

#### ルネ・ラリック(1860-1945)

19世紀末から20世紀初頭にかけてヨーロッパで起こった、アール・ヌーヴォー、アール・デコという2つの美術様式を橋渡しした、フランスを代表する装飾美術工芸家。

宝飾作家として活躍した後、香水商コティと出会い、ガラス工芸家へ転身。晩年、オリエント急行や豪華客船ノルマンディー号などの室内装飾でも卓越したセンスを発揮するなど、生涯にわたりその豊かな感性と斬新な発想で常に話題を集める存在でした。

#### アルフォンス・ミュシャ(1860-1939)

チェコに生まれ、19世紀末アール・ヌーヴォー全盛期のパリで活躍したアーティスト。フランスが誇る大女優サラ・ベルナールの舞台ポスターを制作したことをきっかけに大人気となり、その活動の範囲は、商業ポスター、装飾パネル、ジュエリーのデザインからお菓子のパッケージにまで及びました。

また、故郷チェコに戻ってからの活動も目覚ましいものがあり、20枚からなる超大作「スラヴ叙事詩」を制作した愛国心あふれる「画家 アルフォンス・ミュシャ」としても高く評価されています。



ルネ・ラリック(1860-1945)



## ミュージアム・ツアー & 子ども向けワークシート

毎週火曜日と金曜日は、ミュージアムスタッフによるミュージアム・ツアーを開催します（予約不要）。ミュシャとラリックの生涯を語る、企画展特別バージョンで美術館を巡ります。また、子ども向けに、鑑賞の助けとなるワークシートを配布します。

- 開催日時 毎週火曜日・金曜日 午前11時～11時30分
- 所要時間 約30分
- 参加費用 無料（別途小学生以上は入館料が必要）



ミュージアム・ツアーの様子

## 夏休みワークショップ「オリジナルの冠をつくろう！」

毎年恒例の夏休みワークショップを開催します。今年は、ミュシャのデザインに負けない、自分だけのオリジナル冠をつくります。子どもだけでなく、大人も楽しめる内容です。

- 開催日 7月18日(土)～8月31日(月)
- 参加費用 無料（別途小学生以上は入館料が必要）
- 対象年齢 子どもから大人まで（小学生以下は保護者同伴）



作品例



## 企画展スペシャルメニューが登場…カフェレストラン「LYS」

カフェレストラン「LYS（リス）」は、緑あふれる庭園を眺めながら食事ができるカジュアルフレンチのレストラン。

今回の企画展に合わせて、スペシャルスイーツをご用意します。ラリックの生まれ故郷のお酒シャンパーニュを使用したムースに、櫛や冠などの作品の特徴を飴細工で描きラリックをイメージ。そして、ミュシャの油彩画「リンゴを持つ少女」からヒントを得て、リンゴのお酒カルバダスのムースとお皿の青いラインでミュシャをイメージしています。パリに花開いた二人の才能を表現した、大人の味のスイーツです。



※画像はイメージです

## ミュシャの関連グッズも…ショップ「PASSAGE」

ショップ「PASSAGE（パッセージ）」は、約3万5千点のアイテムが揃う雑貨のセレクトショップです。今回の企画展に合わせて、ミュシャの故郷であるチェコ関連のグッズを販売します。おすすめは、ボヘミアガラスの加工技術から生まれたガラスの爪やすりで、箱根ラリック美術館ロゴ入りのオリジナル商品です。他にも、チェコのガラスやミュシャの立体切り絵など、企画展期間限定の商品を取り揃えます。



ボヘミアガラスの商品  
※画像はイメージです



## 施設概要

施設名称	箱根ラリック美術館 (LALIQUE MUSEUM, HAKONE)
所在地	〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1 TEL : 0460-84-2255 FAX : 0460-84-2271 URL : www.lalique-museum.com
開館日	2005年3月19日 (土)
営業時間	午前9時～午後5時 (入館は午後4時半まで)
営業日	年中無休 (展示替のため臨時休館あり)
美術館入館料	大人 1,500円 高校生、大学生、シニア (65歳以上) 1,300円 小学生、中学生 800円 ※レストラン、ショップ、庭園の入場は無料です
施設内容	敷地総面積 13,004.50㎡ 美術館棟 2,601.30㎡ ミュージアム・ゲート 70.78㎡ 特別展示 オリент急行サロンカー カフェレストラン・LYS 1,083.45㎡ 店内100席 テラス100席 ショップ・パッサージュ 827.93㎡ 1階90坪 2階30坪 庭園 (池、小川、蝶の森)
専用駐車場	第一駐車場 (100台) 1日300円 第二駐車場 (100台) 無料
アクセス	電車・バスをご利用の場合 ■箱根登山鉄道「箱根湯本駅」より、箱根登山バス「湖尻・桃源台」行きにて約30分 「仙石案内所前」下車すぐ ■小田急箱根高速バス「新宿駅」より約120分「箱根仙石案内所」下車すぐ ■箱根施設めぐりバス「箱根ラリック美術館」下車すぐ ■小田急箱根高速バス羽田線「羽田空港」より「横浜駅東口バスターミナル (そごう横浜店)」 「御殿場駅」経由約150～165分 「箱根仙石案内所」下車すぐ 車をご利用の場合 ■東名御殿場I.C.より乙女峠経由、仙石原まで約20分
設計・施工	鹿島建設株式会社、株式会社丹青社
事業主	株式会社ル・ミューゼハタ
本社所在地	東京都中央区銀座4丁目4番5号
代表者	代表取締役 簀 功泰

本件及び取材等に関するお問い合わせ先 箱根ラリック美術館PR担当:株式会社小田急エージェンシー tel : 03-3344-5988  
貴誌(紙)・貴番組にてご掲載いただく際の読者からのお問い合わせ先 箱根ラリック美術館 tel : 0460-84-2255



LALIQUE MUSEUM, HAKONE